

三重県こころの健康センターです。今年度もセンターだより「こころの健康」をお送りします。
毎日暑い日が続きます。体調を崩されることのないよう、気をつけてお過ごしください。
今号はセンターで取り組んでいる「薬物依存症対策」について取り上げました。どうぞご覧ください。

～ 薬物依存症対策について ～

日本の違法薬物事犯者の90%は覚醒剤事犯者で、このうちの60%以上が再犯者(再乱用者)と
言われています。違法薬物と分かっているのに使ってしまうのは典型的な薬物依存症かもしれません。

●薬物乱用、依存、中毒の違い

薬物の乱用、依存、中毒がそれぞれ異なる概念だということをご存知でしょうか？

薬物乱用・依存における問題の本質を理解するためには、乱用、依存、中毒の違いを正しく把握
することが重要と言われています。

●薬物乱用とは？

薬物を社会的許容から逸脱した目的と方法で自己使用することを言います。

覚せい剤、麻薬(コカイン、ヘロイン、LSD、MDMA など)、大麻などは、製造・栽培、所持、売買の
みならず、使用そのものが原則的に法律によって規制(ほとんどは禁止)されています。したがって、
それらを1回でも使えば、その行為は乱用です。

シンナーなどの有機溶剤、各種ガス類を吸引することは目的の逸脱であり、一回の吸引でも乱用
となります。同様に、医薬品を「遊び」目的で服用することも目的の逸脱であり、乱用です。

また、睡眠薬や鎮痛剤などを早く治したいからと、指示された以上に多量に服用する行為は、治
療のためという目的は妥当ですが、方法としては乱用となります。

●薬物依存とは？

薬物乱用の繰り返しの結果生じた脳機能の異常のために、薬効が切れてくると薬物を再度使
いたいという欲求(渴望)が湧いてきて、その渴望をコントロールできずに薬物を再び使ってしまう状態
を言います。

薬物依存を理解するには、「精神依存」と「身体依存」の2つに分けて考えると理解しやすいよう
です。

「身体依存」： 長年の薬物使用により生じた人体の馴化の結果をさします。

身体依存に陥ると、退薬時の苦痛を避けるために薬物を手に入れようと行
動します。この薬物入手のための行動を薬物探索行動と言います。

「精神依存」： 対象となる薬物を再び使いたいという渴望が湧いてきて、その渴望をコン
トロールできずに薬物探索行動に走り、薬物を再使用してしまう状態をさし
ます。

●薬物中毒とは？

薬物中毒には、**急性中毒**(乱用すれば誰でも陥る可能性のある状態)と**慢性中毒**(使用を繰り返すことによって生じる人体の慢性的異常状態)との2種類があります。

急性中毒で典型的なのは「一気飲み」というアルコールの乱用の結果生じる急性アルコール中毒です。飲酒による肝硬変や喫煙による肺癌は慢性中毒として理解できます。幻覚妄想状態を主症状とする覚せい剤精神病も慢性中毒です。

(参考資料:「ご家族の薬物問題でお困りの方へ」厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課発行)

●こころの健康センターでの取り組み

こころの健康センターでは、薬物をはじめアルコール、ギャンブルなどの依存症相談(電話、面談)、家族を対象とした「依存症問題家族教室」を実施しています。また、特定非営利活動法人三重ダルクとの協働事業として、各地域において「依存症ネットワーク会議」を開催しています。

依存者本人が電話をかけてくることは少なく、多くは家族からの相談から始まります。本人は問題を自覚していなかったり、自覚していてもコントロールできると捉えていたりしています。そのような本人の行動への対応で家族が疲弊した状態で相談に繋がることが多いと言えます。

「依存症ネットワーク会議」では各機関それぞれが役割分担を確認し「顔の見える会議」としてネットワークの構築を目指しています。こころの健康センターでは、このネットワークにより共通の課題と認識を持って本人や家族を支援する体制を作っていきます。

<ご案内>

センターでは以下の研修を予定しています。詳細は[センターホームページ](#)をご覧ください。

自殺未遂支援者研修会

「未遂者支援と地域連携」 講師 奈良県立医科大学附属病院精神医療センター 下田重朗 氏
平成 27 年 8 月 23 日(日) 午後 2 時～4 時 三重県伊賀庁舎 会議室

ひきこもり支援者スキルアップ研修会

「生活困窮者自立支援からひきこもり支援を考える～なばり暮らしあんしんセンターの実践から～」
講師 名張市社会福祉協議会 長澤理史 氏
平成 27 年 8 月 28 日(金) 午後 2 時～4 時 三重県人権センター 大セミナー室

発行: 三重県こころの健康センター

〒514-8567 津市桜橋 3-446-34 三重県津庁舎保健所棟 2 階

TEL: 059-223-5241(代) FAX: 059-223-5242

URL: <http://www.pref.mie.lg.jp/KOKOROC/HP/>



サポートします!
こころの健康